

改善案	残留リスク	効果	コスト	時間	労力	実行可能性	採用	
							短期的	長期的
変更指示のルールを明確にする	守らない可能性がある	○	◎	○	○	○	採用1	
変更指示書と古い薬剤を一緒に保管する	変更の数が多すぎると保管できない	○	◎	○	○	○	採用2	
未処理タスクを分かりやすい場所に保管	決められた場所に置かない可能性がある	○	◎	◎	○	○	採用3	
配薬ボックスを大きくする	患者がたくさんいるとかさばる	△	△	△	○	△	不採用	
包の文字を大きくする	印刷スペースの制約がある	○	×	△	△	×		採用1
ワーファリンの容量の知識研修	参加しない、理解できない可能性がある	△	○	×	△	○	採用6	
指示簿を見るルールを徹底する	守らない可能性がある	△	○	○	△	○	採用4	
バーコード照合システムを導入する	面倒だとやらない	◎	×	×	△	△		採用2
配薬ボックス内に薬剤指示書を入れておく	薬剤が多いとはみ出す、スペースの制約がある	△	○	○	○	△	さらに検討	
中断作業が分かるようにメモをとる	メモを忘れる可能性がある	△	◎	○	○	△	採用5	
患者に薬に関する情報を提供する	理解できない手間がかかる	△	△	△	×	○	採用7	

ワーファリン2倍投与事例の改善策評価表